

**R8 年度 看護栄養学部健康栄養学科 総合型選抜
レポート試験 出題の意図**

1. ねらい

課題文等を適切に読み取る読解力や理解力、複数の課題文等を整理・統合し考察する論理的思考力、独創的な発想力、自分自身の考えの表現力を評価する。

2. 出題形式

- 1) レポート課題 1 題
- 2) 回答時間 120 分
- 3) 文字数 800 字以内

3. 作問意図

日本は地震や大雨、台風など、さまざまな自然災害が多く発生する「災害大国」として知られている。災害時には行政の支援もあるが、限界があるため、自分の命は自分で守るという「自助」の意識が大切になる。

災害が起きると、食べ物の確保が大きな課題になる。最近では、非常食などの食料を備える意識が高まっている。しかし、「災害時の歯の健康」については、まだあまり注目されていない

この課題では、「災害への備え」と「歯の健康を保つこと」を組み合わせ、私たちにできることは何かを考える。

課題文 1

わが国の災害対策の取り組み等

- ・災害対策としての備えにはどのようなものがあるか示すことができるか
- ・自助に重点を置き、どのような備えをすることができるか自分の意見を述べられているか

課題文 2

「歯科医療に関する一般生活者意識調査」から抜粋した図

歯や口の悩みについて年代別に整理できているか

- ・20代は「歯の色」、40代以降は「ものが挟まる」が1位になっている。
- ・10～20代の歯の健康と健康の関係の認知度が低い
- ・10～20代の定期歯科受診率は低い
- ・10代では「硬い食べ物より柔らかい食べ物が好き」が半数以上
- ・災害時には歯や口の問題が健康にどのような影響を及ぼすかを考慮し、どのような備えが必要か自分の考えを述べることができるか